

三井倉庫グループの価値観

「物流から価値を」 社会から真に必要とされる 企業グループを目指して

三井倉庫グループは創業以来100年以上にわたり、幅広い業種・地域においてお客様の物流課題に真摯に向き合い、「物流」という重要な社会インフラを支えてきました。祖業の倉庫業を基盤としながら、陸・海・空の各輸送機能を強化し、多様化するお客様のニーズに対応可能な「一気通貫の物流機能」を構築してまいりました。また、医薬品や食品原料等の特殊な管理環境を要する貨物の取り扱いにおいては、高い専門性と万全な設備で品質を維持することにより、お客様より高い評価を得ています。

三井倉庫グループは、「物流から価値を」というグループ VISIONのもと、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進め、新しい価値を創出していくとともに、国内外の企業活動に おいてお客様が考える価値を共有し、物流の課題を抱えるすべてのお客様から、最初に相談される「ファーストコールカンパニー」を目指してまいります。







VISION

物流から価値を

MISSION

お客様から信頼される ファーストコールカンパニー となること









CONTENTS

01 WHO WE ARE 01 三井倉庫グループの価値観 04 バリューレポート2021の発行にあたり 05 At a Glance 07 歴史 **VALUE CREATION** 09 グループCEOメッセージ 15 価値創造プロセス 17 三井倉庫グループのマテリアリティ(重要課題) 21 重要課題01 協創を通じた持続可能で強靭な物流サービスの提供 27 重要課題02 安全、多様性、働きがいのある労働環境の実現 31 重要課題03 積極的な環境負荷低減による低炭素社会・循環型社会への貢献 35 中期経営計画2017 ~反転から持続的成長~ 37 最高財務責任者メッセージ 39 事業概況 40 三井倉庫ホールディングス 41 三井倉庫 45 三井倉庫エクスプレス 47 三井倉庫ロジスティクス 49 三井倉庫サプライチェーンソリューション 51 三井倉庫トランスポート 53 新型コロナウイルス感染症への対応 55 FOUNDATION FOR VALUE CREATION 55 ESG経営・サステナビリティ推進体制 57 コーポレート・ガバナンス 61 社外取締役メッセージ 63 取締役及び監査役 65 FINANCIAL SECTION 65 5年間の連結財務・非財務データ 67 連結貸借対照表 68 連結損益計算書、連結包括利益計算書 69 連結株主資本等変動計算書 70 連結キャッシュ・フロー計算書 71 CORPORATE DATA 71 グループ・ネットワーク

72 会社情報・投資家情報



バリューレポート2021の発行にあたり

三井倉庫グループは、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様に向けて、当社グループの中長期的な価値創造についてお伝えすることを目的に「バリューレポート」を発行しています。 2019年より従来の「アニュアルレポート」を刷新し、本レポートで3回目の発行となりました。

本レポートでは、2022年3月期を最終年度とする5カ年計画「中期経営計画2017~反転から持続的成長~」の進捗を中心に当社グループの中長期的な価値創造ストーリーをステークホルダーの皆様にわかりやすくご理解いただけますよう編集に努めました。また、事業を通じた社会課題の解決による持続的成長を達成するため、当社グループは2020年に「物流という重要な社会インフラを支える企業として新たな価値を創出する」ことが事業運営上、最重要であると位置づけた上で、経済・社会・環境価値の同時達成を実現するため「協創を通じた持続可能で強靭な物流サービスの提供」「安全、多様性、働きがいのある労働環境の実現」「積極的な環境負荷低減による低炭素社会・循環型社会への貢献」を当社グループのマテリアリティ(重要課題)として設定しました。これは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標である「持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)」への貢献にもつながるものであり、これらの取り組みについても本レポートにて報告しています。

本レポートの作成にあたっては、価値報告財団(VRF)が提唱する「統合報告フレームワーク」や、経済産業省が提唱する「価値協創のための総合的開示・対話ガイダンス」なども参照しながら、当社グループの横断的な考え方を集約した上で各部門が協力し、誠実に作成しています。私は、その作成プロセスや記載内容が正当であることを確認しました。

今後も財務情報と非財務情報を体系的にまとめた「バリューレポート」をステークホルダーの皆様との建設的な対話を進めるためのエンゲージメントツールの一つとして活用していきます。そして、当社グループが事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献し続けることで社会的責任を果たすとともに、社会と当社グループ相互の持続可能な発展を追求し続ける当社グループの変わらぬ姿勢をご理解、ご支援いただければ幸いです。

2021年9月

田原口 誠

取締役会長 取締役会議長

[編集方針]

本レポートを中長期の成長に向けた経営戦略や、成 長の基盤となるESG情報、業績・財務情報などを盛 り込んだディスクロージャーとして位置づけ、投資 家の皆様を主な対象として発行しています。

また、ホームページにおいても、当社のさまざまな情報を網羅して掲載しています。読者の皆様には、本レポート及びホームページを併せてご覧いただくことで、当社へのご理解を深めていただければ幸いです。今後も読者の皆様のご期待に沿える誌面編集に努めてまいります。

[将来の見通しに関する免責事項]

本レポートに記載されている当社の将来の業績に関する計画・戦略・見通し・経営に関する取り組みなどのうち、歴史的事実でないものは、将来予測であり、これらは現在入手可能な情報に基づいた仮定及び判断です。実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や商品の価格、新しい商品の開発・販売や原材料価格・為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合があります。

高い専門性を強みとした一気通貫の統合ソリューション を展開する三井倉庫グループの物流サービス

三井倉庫グループが提供する物流バリューチェーン



持株会社(上場会社)

三井倉庫株式会社

三井倉庫







■物流事業会社■

倉庫保管·港湾運送·海外物流

大型物流センター運営ノウハウを起点に国内外 で戦略的ロジスティクスを構築し、各国の現地 事情に即した最適なソリューションを提供

三井倉庫 ホールディングス 株式会社





三井倉庫 ロジスティクス株式会社

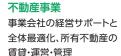
エクスプレス株式会社

トヨタ自動車(株)との合弁企業



航空貨物輸送

貨物特性に応じた専門的なノウハウを有する高 品質なグローバルエクスプレスフォワーダー







サードパーティーロジスティクス(3PL)

お客様の経営課題を解決するサードパーティー ロジスティクス・パートナー

三井倉庫 サプライチェーン ソリューション株式会社 ソニー(株)との合弁企業



SCM支援

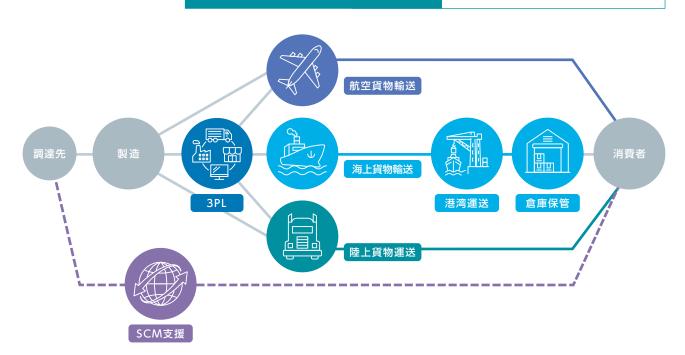
お客様を競争優位に導くサプライチェーン ソリューションを提供する物流デザイナー

三井倉庫 トランスポート株式会社

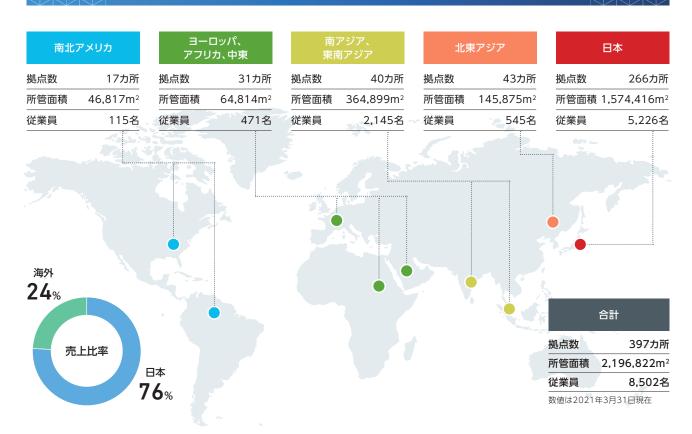


陸上貨物運送

輸送機能を軸としたトランスポートネットワーク を統括・管理



グローバルネットワーク



専門スキルを用いた高品質な物流ノウハウ

ヘルスケア物流

医薬品製造業許可、医薬品卸売販売業許可など各種許認可 の取得により、医薬品・医療機器・治験薬等のヘルスケア物流 において、付加価値の高い物流サービスの提供を可能にして います。このサービスではGDP*1、GMP*2、品質マネジメント システムに適合した高機能な自社物流施設を保有し、各温度 帯域[室温/常温/冷蔵/冷凍/極低温]での保管・輸送に対 応しています。

- ※1 GDP:医薬品の適正流通基準
- ※2 GMP: 医薬品等の製造管理及び品質管理の基準

BPO情報資産管理サービス

ISO/IEC 27001の認証とPマークを取得しており、徹底した情報 セキュリティの管理体制に基づき事業を行っています。銀行・保険 会社をはじめとする金融機関や自治体における重要機密文書の 取り扱い、また治験機関の情報資産管理などを行っており、ドキュ メントの作成から廃棄まで、情報ライフサイクルのワンストップ サービスを同一施設内で提供することが可能です。

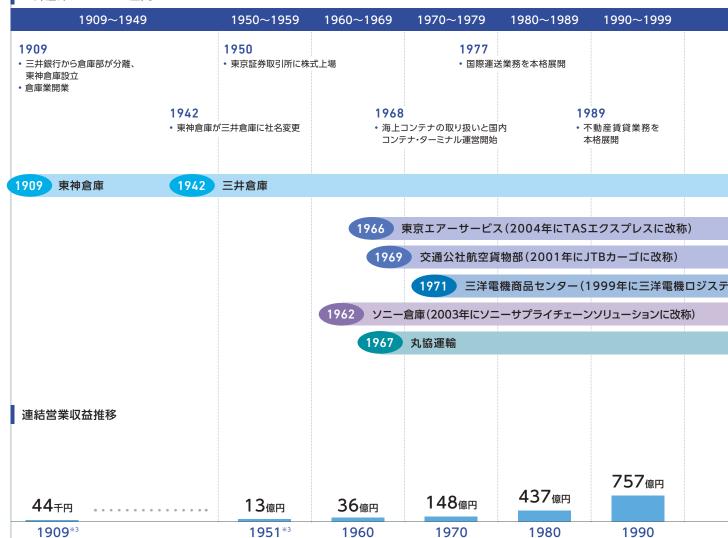


数値は2021年3月31日現在



フルスペック物流を実現した

三井倉庫グループの歴史



- ※1 2011年JTBカーゴが三井倉庫エアカーゴに改称
- ※2 三井倉庫トランスポートは丸協運輸グループの統括・管理会社となります。
- ※3 1909(第1期決算:1909/10~1909/12)、1951(第78・79期決算:1950/4~1951/3)は総益金として計上

物流の歴史

1909~1959

日本の近代化による倉庫需要の拡大

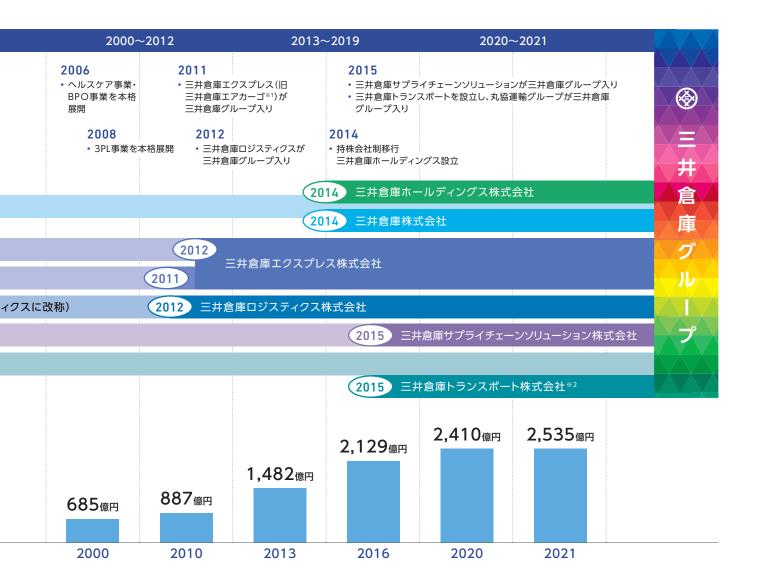
日本が近代化を進めていく過程で製糸業や紡績業をはじめとしたさまざまな産業が勃興し、倉庫の需要も拡大していきましたが、太平洋戦争において我が国の産業はほぼ壊滅することとなりました。その後朝鮮戦争の勃発による特需景気の影響を受け、本格的な戦後復興、高度経済成長による倉庫需要の拡大期を改めて迎えることとなりました。

1960~1990

国際化による国際複合輸送・航空貨物の発展

1960年代以降、国際貿易や国際流通が活発となりました。 1968年にはアメリカ―日本航路にコンテナ船が投入され、コンテナ輸送や国際複合輸送による物流の変革の時代が到来。そしてアメリカで登場したジェット旅客機の登場により、1970年代以降、国際航空貨物輸送が急拡大しました。

三井倉庫グループのあゆみ



1991~2014

物流ニーズの多様化による3PL企業の台頭

世界的な技術革新や東南アジアをはじめとしたグローバル化の進展等、社会情勢が著しく変化する中で、物流においても輸出入や保管、輸送等におけるニーズが多様化し、荷主企業に代わって物流戦略の企画・実行を行う3PL(Third Party Logistics)専門の物流企業が台頭してきました。

2015年以降~

サステナビリティ時代における物流の重要性の高まり

宅配需要の急増や高齢化に伴う物流業界の労働力不足に加え、世界的な新型コロナウイルス感染症の影響によりサプライチェーンの脆弱性が顕在化し、物流の重要性が再認識されています。社会インフラを支える存在として、持続可能な物流を提供することが今まで以上に求められています。